

TH-110 取扱説明書

TH110-z-2305

お買い上げありがとうございます。
 ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
 下さいますようお願い申し上げます。
 本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

[親機]

- 使用温度範囲：-10.0～+50.0℃ ※結露なきこと
- 温度計：表示 / 測定範囲 -10.0～+50.0℃
 ※-10.0℃より低いと [LL]、+50.0℃より高いと [HH] を表示
 精度 ±1.5℃
- 湿度計：表示 / 測定範囲 20～95%RH
 ※20%RHより低いと [LL]、95%RHより高いと [HH] を表示
 ※温度が0℃以下を表示した場合、湿度は [LL] を表示
 精度 ±5%RH (温度25℃で、20～90%RHの範囲)
 ±8%RH (上記範囲外)
- 測定間隔：約30秒
- 子機データ受信間隔：約1分
- 熱中症指標表示：日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針 Ver.4」に
 基づき4段階で表示
- 温度変化矢印表示：親機/子機の測定値を基に約30分ごとに±1℃以上の温度変化を表示
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 2個
- 電池寿命：約12ヶ月 (単3形アルカリ乾電池2個使用の場合)
- 置掛兼用
- 電池交換お知らせ表示 (親機 / 子機)

[子機]

- 無線種類：特定小電力無線 (F1D 315MHz帯)
- 使用温度範囲：-20.0～+50.0℃ ※結露なきこと
- 温度計：測定範囲 -20.0～+50.0℃
 ※-20.0℃より低いと [LL]、+50.0℃より高いと [HH] を表示
 精度 ±1.5℃ (0.0～40.0℃の範囲)
 ±2.0℃ (上記以外)
- 湿度計：測定範囲 20～95%RH
 ※20%RHより低いと [LL]、95%RHより高いと [HH] を表示
 ※温度が0℃以下を表示した場合、湿度は [LL] を表示
 精度 ±5%RH (温度25℃で、30～80%RHの範囲)
 ±8%RH (上記範囲外)
- 測定間隔：約30秒
- データ送信間隔：約1分
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池 (LR6 1.5V) 2個
- 電池寿命：約12ヶ月 (単3形アルカリ乾電池2個使用の場合)
- 生活防水：IPX2相当
- 通信距離：約30m (見通し空間距離)

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 0～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。

温度・湿度表示機能について

- 本製品は工業用(業務用)計測機器として使用する目的で製造されたものではありません。
 温度・湿度表示機能はセンサーが本体内部に設置されているため、表示が安定するまでに時間がかかる場合があります。
- 他の製品、温度計・湿度計との誤差が発生する場合があります。
- 使用温度範囲を超えた場合、故障の原因となりますので、ご注意ください。

温度(℃)・湿度(%RH)について

- 湿度とは、空気の乾燥の度合いです。空気中には常に水蒸気が含まれており、一般に天気が悪くなると空気は湿っぽく、晴天が続くと乾燥します。この湿り気を湿度と言い、通常は空気中の水蒸気と飽和水蒸気量との比を百分率で表す相対湿度(%RH)を意味します。
- 湿度は空気が「かたまり」で移動するため、同じ室内でも風通しの良いところと、部屋の隅の空気が淀んだところとでは差が生じます。
- ※本製品の温度・湿度計は、設置された場所の温度・湿度を測定しています。テレビなどで発表される天気予報などの温度・湿度の数値とは異なります。

電池交換時期とリセット操作について

- 電池交換時期
- 親機の電池容量が不足してくると、親機の液晶表示が薄くなったり見えにくくなる場合があります。
- 親機/子機共に電池容量が少なくなると、**電池交換お知らせ表示** が点滅します。このような場合は、速やかに新しい乾電池に2個同時に交換して下さい。

■リセット操作

親機/子機共に電池を電池ホルダから外した直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れ直した場合は、必ず**リセットボタン**を押して下さい。
 ※**リセットボタン**が押しにくい場合は、伸ばしたクリップの先などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、ボタンが破損しますのでご注意ください。

※親機または子機どちらかの電池交換やリセット操作後は、必ず親機/子機両方のリセット操作をして下さい。

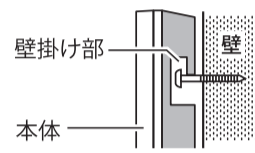
親機/子機の掛け方について



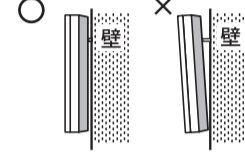
注意

掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 本製品を掛け具に掛けた際に、本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
- 本製品は垂直・水平に掛けて下さい。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
- 落下の原因になりますので、**壁掛け部**以外には掛けないで下さい。
- 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
- 壁の材質・構造を確認の上、この製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質・構造が不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。
- 室内の温度・湿度を正確に計る為に、直射日光の当たるところや、冷暖房器具、加湿・除湿器具などの近くは避け、空気が良く循環する場所を選び設置して下さい。
- 本製品は電池を入れて設置してから、約2～3時間後に正しい値を表示します。
- 親機は生活防水仕様ではありません。また、結露するところでは使用しないで下さい。故障や誤動作の原因になります。



<正しい掛け方>



<横から見た場合>

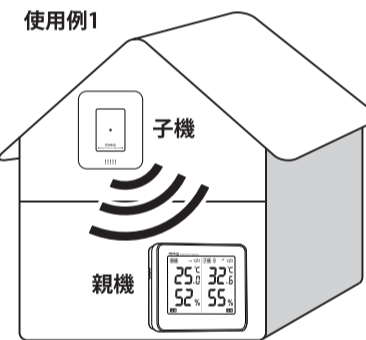


子機の設置場所について

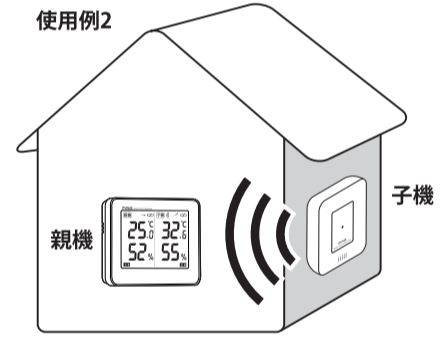
- 子機は必ず親機から30m以内(見通し空間距離)に設置して下さい。
 ※「見通し空間距離」とは、親機と子機の間に壁などの遮蔽物が無い状態を指します。遮蔽物によっては通信機能が低下する可能性があります。
- ※電池の電圧に比例し、電波の到達距離が変わります。
- ※受信可能範囲に送信機が複数ある場合、誤受信をする場合があります。その場合は一度送信機から離し、リセット操作をして、様子を見て下さい。

■設置場所

- 子機は生活防水構造 (IPX2相当) ですが、子機底面の**通気孔**より水が浸入する場合があります。必ず**通気孔**が下に来るように設置して下さい。(本書、**各部の名称(子機)**を参照して下さい。)
- 外に設置する場合は、軒下等の直射日光に当たらず、直接雨や雪の当たらない場所に設置して下さい。
- ※子機を屋外で使用した場合、設置環境により外装が変色する場合があります。
- ※**通気孔**をふさがないように設置してください。**通気孔**がふさがれると正確な温度・湿度が表示されません。



屋内2カ所の温度・湿度を表示



屋内と軒下の温度・湿度を表示

熱中症指標表示について

日本気象学会の熱中症指針をもとに、温度と湿度の数値から、熱中症指標を4段階で表示します。

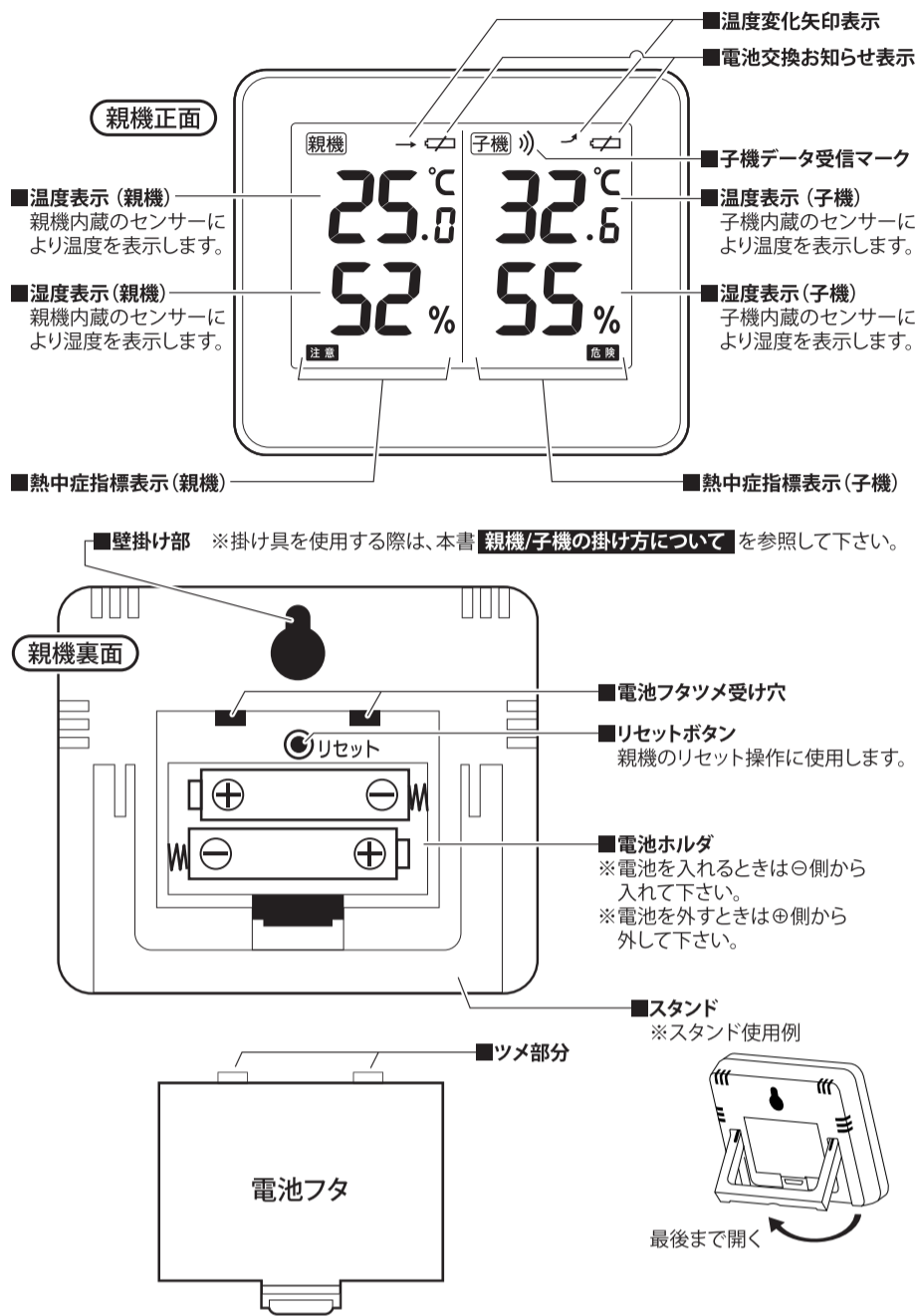
(**注意** **警戒** **嚴重警戒** **危険**)

熱中症指標 (WBGT) は、下記のように表示されます。

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 31℃以上	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 28℃以上 31℃未満		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 25℃以上 28℃未満	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 25℃未満	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

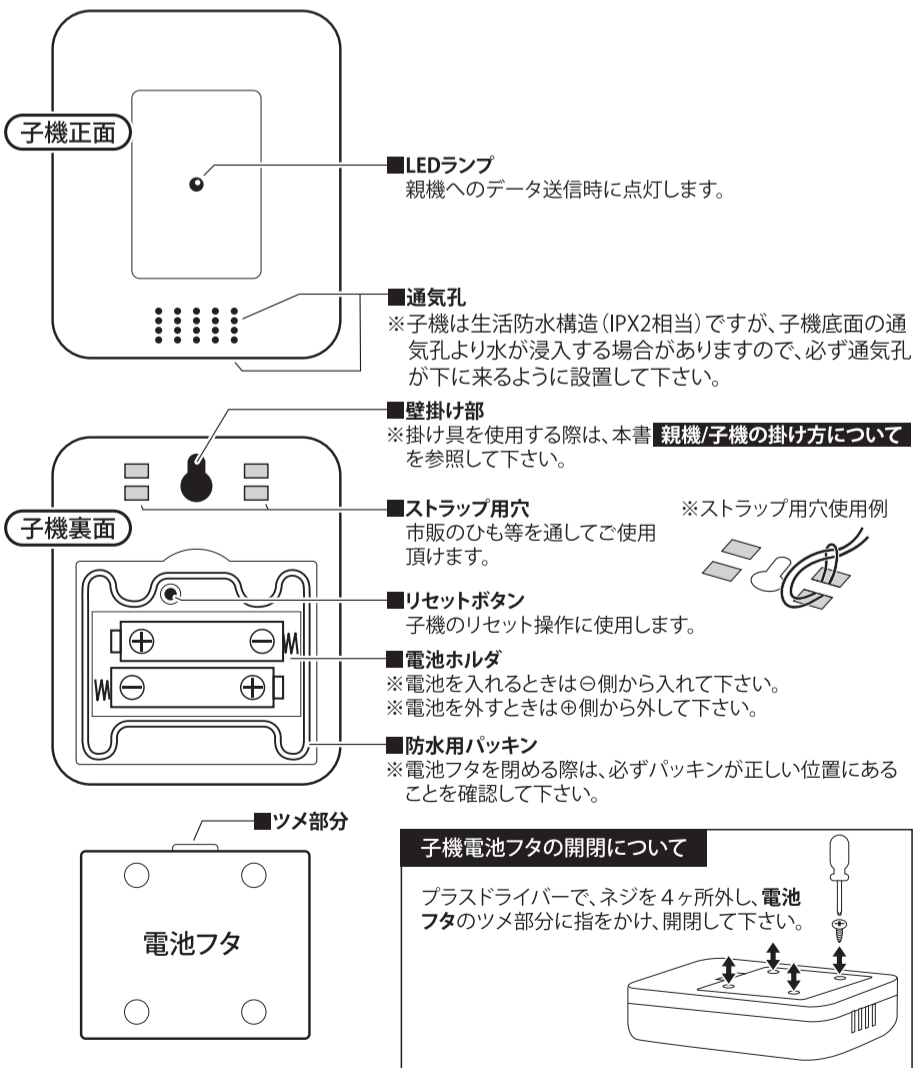
出展：日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」

各部の名称(親機)



注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や本体の故障の原因になります。

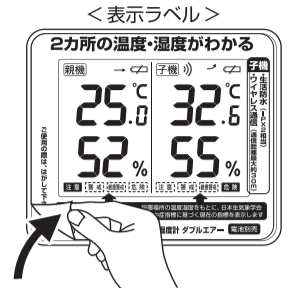
各部の名称(子機)



注意 種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や本体の故障の原因になります。

ご使用方法

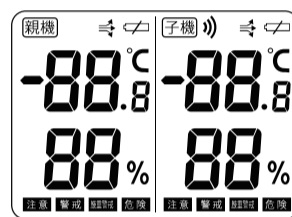
- 親機の表示ラベルを剥がして下さい。
 ※ラベルを剥がす際に、液晶表示が部分的に黒くなる場合がありますが、静電気による一時的な現象です。しばらくそのままにしておくと、元に戻ります。
- 子機の電池フタを開けて単3形乾電池2個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、電池フタを閉じて下さい。
 ※本書「子機電池フタの開閉について」を参照して下さい。
 →子機が温度・湿度データの送信を開始します。
- 親機の電池フタを開けて単3形乾電池2個を⊕⊖の表示に合わせて入れ、ツメ部分をツメ受け穴に差し込み電池フタを閉じて下さい。
 →液晶面が表示され、子機からの温度・湿度データの初期受信を開始します。
 ※初期受信は親機に電池を入れた直後から3分間です。
 ※子機データの初期受信中は、子機データ受信マークが点滅します。
 ※子機データの受信には、最長約1分かかります。
 ●子機データの受信に成功すると、子機データ受信マークが点灯し子機を設置した場所の温度・湿度を表示します。
 ●子機データの受信に失敗すると、子機データ受信マークは消灯し温度・湿度共に「--」を表示します。
- 親機が子機のデータを受信し、正常に温度・湿度を表示している事を確認し、本書「子機の設置場所について」を参照して子機を任意の場所に設置して下さい。



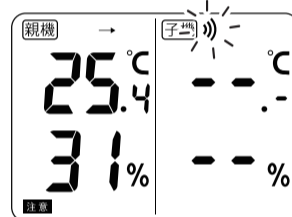
電池挿入後及びリセット操作後の初期動作について

親機または子機どちらかの電池交換やリセット操作後は、必ず親機/子機両方のリセットボタンを押して下さい。以下の動作を開始します。

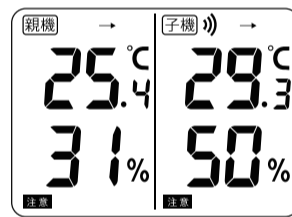
電池挿入後及びリセット操作後の動作



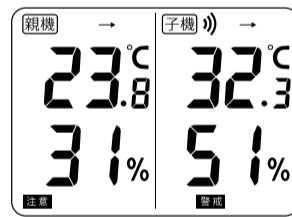
1. 液晶表示が約2秒間全表示します。



2. 子機データの初期受信(最長約3分間)を開始します。
 →子機データ受信マークが点滅します。



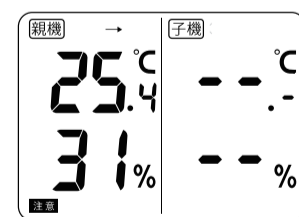
3. 子機データの受信結果を確認して下さい。
 ●受信に成功した場合
 →子機データ受信マークが点滅から点灯に切り替わり、子機の設置場所の温度湿度を表示します。



4. 初期受信完了後、子機データの定期受信に移行します。
 →定期受信中は子機データ受信マークは点滅しません。

※定期受信中、約10分間子機からのデータを受信出来なかった場合、自動的に子機データ受信モード(最長約3分間)に入ります。その間に子機からのデータ受信に成功しなかった場合は、以後子機データの定期受信を自動的に停止します。本体の向きや置き場所を変えて親機/子機両方のリセットボタンを押して下さい。

子機データの受信に失敗した場合



●受信に失敗した場合
 →子機データ受信マークが消灯し、温度・湿度共に「--」を表示します。

設置場所を変えて、本書「子機の設置場所について」と「電池交換時期とリセット操作について」を参照し、本体の向きや置き場所を変えて親機/子機両方のリセットボタンを押して下さい。

温度変化矢印表示について

子機/親機ともに温度の変化を矢印で表示します。数値は約30分毎に更新され、±1℃以上の変化があれば、「↗」もしくは「↘」のいずれかを表示し、±1℃未満であれば「→」を表示します。

その他

電波障害などにより、誤った信号を受信することがあります。表示がおかしい場合は、本書「電池交換時期とリセット操作について」を参照して、リセット操作を実行し、改めて受信をさせて下さい。